

## 献眼者に今ある毎日を感謝して

～角膜移植を受けられた方の体験から～

愛媛県では、愛媛大学医学部、住友別子病院、松山赤十字病院、岡本眼科クリニックを中心に角膜移植治療が行われており、他県からも移植にいられています。

献眼という「愛の贈り物」によって視力が回復し、喜んでくださる方がおられることを思い起こしていただけるよう、実話をもとに物語にしました。



**角膜内皮移植術とは**  
提供された角膜の内皮層を、角膜周辺部に開けた数ミリの切開創から眼内に移植して、空気の流れで接着させる方法です。

亡くなった方の角膜から内皮細胞だけを取出し移植します。角膜パーツ移植という最新の方法です。

早速、紹介された大学病院の眼科を受診しました。

このままでは左目が失明する恐れがあります。治療には角膜移植が必要です。

えっ!?  
移植: いろんな風にするのですか?

わかりました。母の目が救えるのならお願いします。

角膜を提供していただく方がおられましたら連絡します。

二か月後

角膜の提供がありました。すぐ入院して下さい。

東日本大震災の3月11日に、3年目にあたる3月11日に、移植手術を受けることになった。震災で逝きし若人許せよと光求める老婆は手術に

※その時の思いを短歌にしました。

## 献眼者に今ある毎日を感謝して

～ 角膜移植を受けられた方の体験から ～

15、16年前から右目が「緑内障」になり治療を続けていました。

ところが昨年暮れ頃から今度は左目の視力が落ちてきたので、かかりつけの眼科を受診しました。

マンガ / 佐伯ウサギ

**水疱性角膜症とは**  
角膜内皮細胞の機能不全で、角膜全体が腫れて混濁し視力が低下する病気です。角膜内皮細胞は、角膜の一番内側にあり角膜内の水分を汲み出して角膜を透明に保ちます。

角膜の構造

※角膜内の水分量を調整

水疱性角膜症になっていきます。角膜の専門の先生を紹介しますので、診てもらってください。

わあーきれい!! 色鮮やかに全部がはつきり見えます。

先生! ありがとうございます。ごさいました。

それから10日後に退院—今は2か月に1回、ヘルパーさんに付き添われて術後の検診に行っている。

今年で88歳になる。新聞も本も読めるようになった。自分で食事も作ることができる。

献眼していただいた方の愛で、今日も見ることができました。心から感謝しています。この喜びを二人でも多くの人に伝えたいと思います。

先生 よろしくお願ひします。

大丈夫ですよ。

手術中

手術はうまくいきましたよ。

先生ありがとうございました。ごさいました。

それから2日後: 手術後ふさがれていた左目のガーゼが取られた。

目を開いてみてください。

角膜はまた元通り透明になりましたよ。良かったですね。

はい。